

鳥取県幼児教育振興プログラム案（改訂版）

（平成24年12月17日）

【加筆・修正】

赤字・・・・検討委員会(委員)

青字・・・・関係課

緑字・・・・教育審議会

*色付け部分 加筆・修正

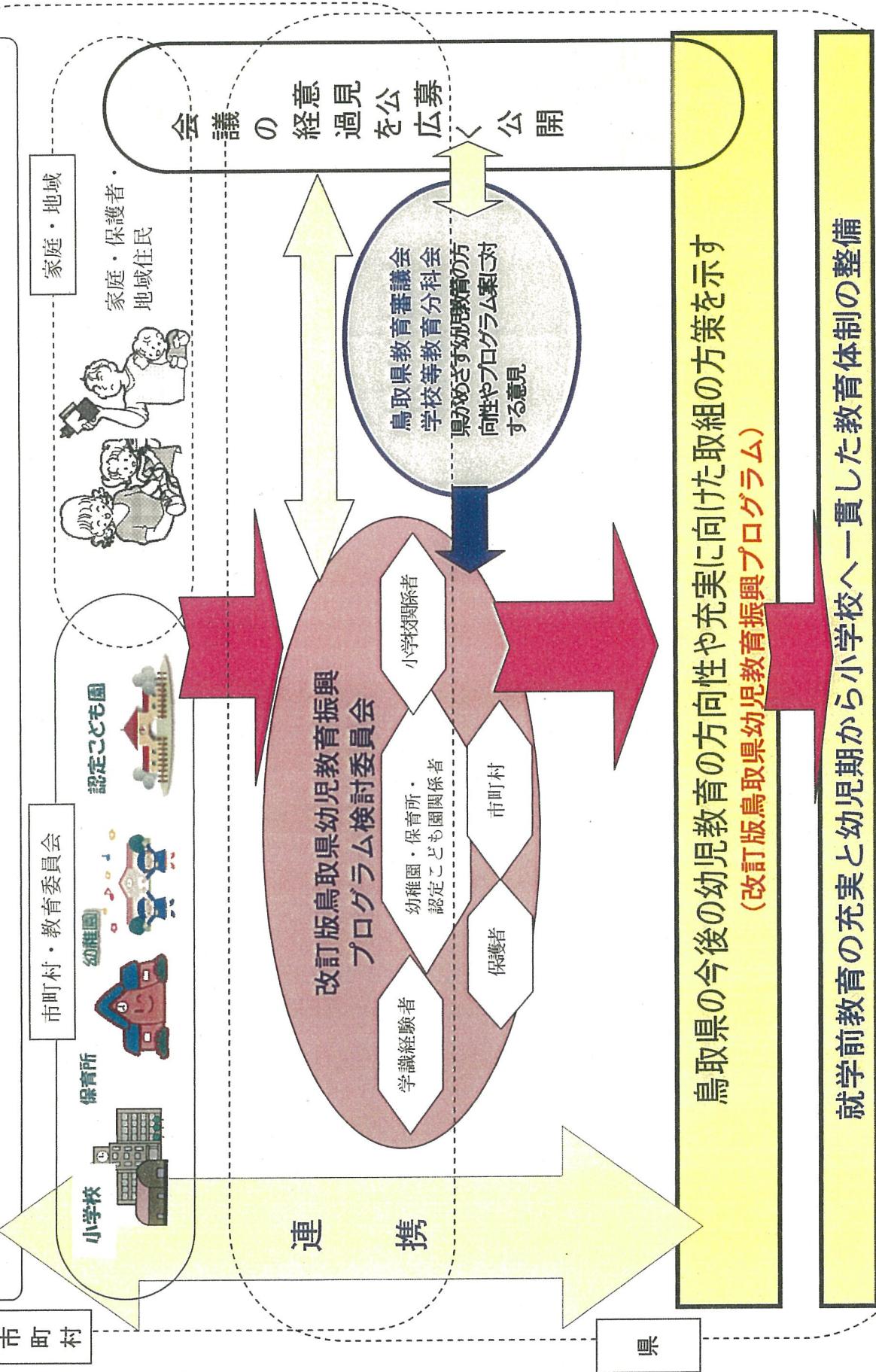
鳥取県教育委員会

目 次

○ 鳥取県幼児教育振興プログラム改訂のイメージ図	1
○ 「遊びきる子ども」をめざして	2
○ 体系表	3
○ 鳥取県幼児教育振興プログラムの全体像	4
I 改訂の趣旨	5
II 鳥取県の幼児教育の現状	6
III めざす子どもの姿	12
1 遊びきる子ども	12
2 遊びの中の学び	13
IV 推進の柱と基本方針及び重点的な取組 *第Ⅳ章の構成	14・15
1 幼児教育・保育内容の充実	16
(1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿った幼児教育・保育の展開	17
(2) 特別支援教育の推進	25
2 教員・保育士等の資質の向上	31
(1) 研修体制の整備	32
(2) 研修内容の充実	36
3 小学校教育との連携推進	40
(1) 連携・交流の体制づくり	41
(2) つながりを意識した幼児教育・保育内容の充実	45
4 子育て・親育ち支援の充実	49
(1) 「親と子の育ちの場」の充実	50
(2) 子育て支援体制の充実	56
(3) センター的機能の整備	60
5 地域で支える幼児教育の推進	62
(1) 幼児教育関係組織の連携	63
(2) 幼保一体化など新しい課題への対応	67
(3) 幼児教育・保育環境の改善	71
V 資料編	73

改訂版鳥取県幼児教育振興プログラムのイメージ図

市町村の今後の幼児教育の方向性や充実に向けた取組の方策を示す（市町村幼児教育振興プログラム策定）



鳥取県教育振興基本計画 「自立して生きていく人「心豊かに」生きていく人 めざす人間像



夢や希望に向かって、学び続け、チャレンジするとっとりの子ども

鳥取県のめざす子どもの姿(幼児)



遊びきる子ども

学びの基礎づくり

豊かな人間性

健康な体づくり

改訂版 鳥取県幼児教育振興プログラム

～就学前教育の充実と幼児期から小学校へ切れ目のない支援体制の整備～

《推進の柱》

1 幼児教育・保育内容の充実

2 教員・保育士等の資質の向上

3 小学校教育との連携推進

4 子育て・親育ち支援の充実

5 地域で支える幼児教育の推進

《基本方針》

・幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿った幼児教育・保育の展開
・特別支援教育の推進

・研修体制の整備
・研修内容の充実

・連携・交流の体制づくり
・つながりを意識した幼児教育・保育内容の充実

・「親と子の育ちの場」の充実
・子育て支援体制の充実・センター的機能の整備

・幼児教育関係組織の連携
・幼保一体化など新たな課題への対応
・幼児教育・保育環境の整備

【幼児】

- ・文字や数字への興味関心が高い
- ・情報が得やすく知識が豊富
- ・素直で人なつっこい
- ・物があふれた中での生活
- ・基本的生活習慣の自立の遅れ
- ・コミュニケーションの能力が未発達
- ・小学校生活への不適応
- ・外遊びや直接体験の不足
- ・体の使い方が未熟で、体力・運動能力が低い
- ・自制心や規範意識の不足
- ・遊び込む（遊びに集中・遊びに広がり・試行錯誤のある遊び等）体験の不足



【保護者】

- ・園行事への参加率が高い
- ・我が子へ愛情をかけている
- ・公的な場でのマナーなど規範意識の低下
- ・子育てよりも自分のことを優先
- ・しつけ、子育てを幼稚園や保育所にまかせがち
- ・コミュニケーション能力、人とつながる力の弱さ
- ・子育ての孤立化・子育て不安や情緒不安定

【地域・社会】

- ・少子・核家族化
- ・身近な自然や遊び場の減少
- ・子育て支援体制整備の充実と活用
- ・メディアへの依存
- ・近所の人や地域とのつながりの希薄化
- ・育児情報の氾濫
- ・子ども同士で遊び、葛藤しながら成長する体験の機会の減少

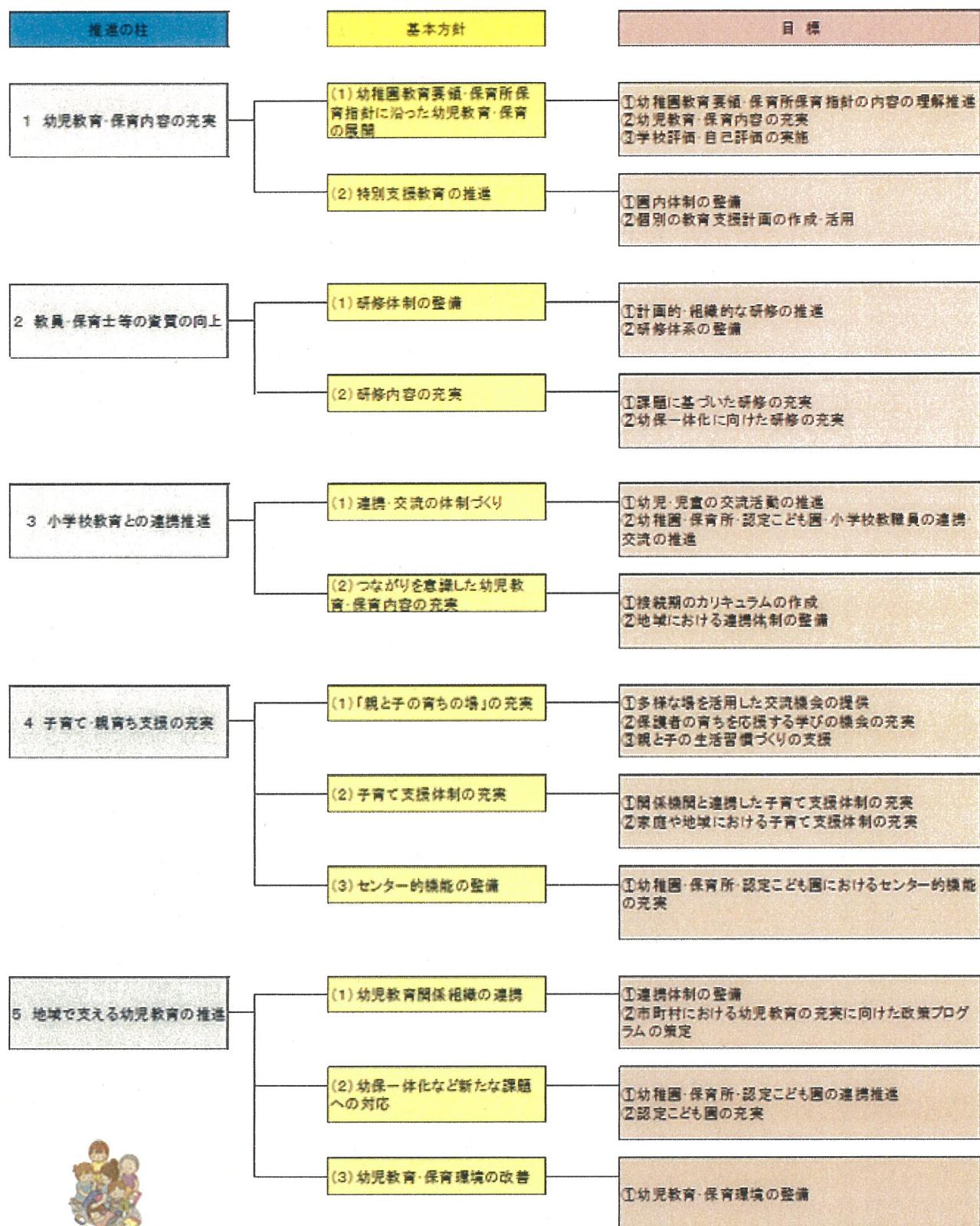
【教員等】

- ・家庭や地域社会の教育力の低下に対応するための資質・専門性を高める必要
- ・教員等自身の多様な体験の不足
- ・保護者等との良好な関係を構築する力が未熟
- ・保育を構想し実践する能力が不足する傾向
- ・多様な発達や家庭環境に対応する力が必要

背景

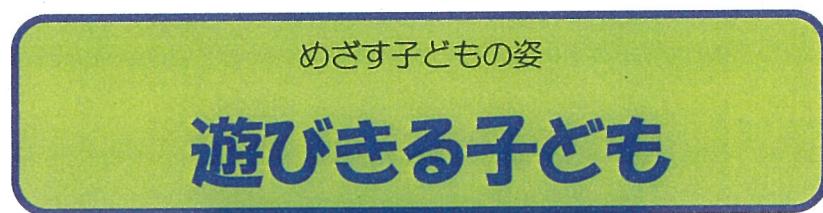
鳥取県の特徴 ・女性就業率が高い ・保育所入所児の割合が高い・長期間保育・長時間保育の子どもが多い

体系表



【鳥取県幼児教育振興プログラムの全体像】

本県がめざす子どもの姿「遊びきる子ども」の育成に向けて、このプログラムでは下記のとおり5つの推進の柱に基づき、基本方針と目標を設定しました。県と県内全ての幼稚園・保育所・認定こども園、市町村が各々取り組むことを具体的に示しました。



乳幼児期にふさわしい遊びと生活

1 幼児教育・保育内容の充実

基本方針① 幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿った幼児教育・保育の展開

目標① 幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容の理解推進

目標② 幼児教育・保育内容の充実

目標③ 学校評価・自己評価の実施

基本方針② 特別支援教育の推進

目標① 置き体制の整備

目標② 個別の教育支援計画の作成・活用

専門性の向上

2 教員・保育士等の資質の向上

基本方針① 研修体制の整備

目標① 計画的・組織的な研修の推進

目標② 研修体系の整備

基本方針② 研修内容の充実

目標① PDCAサイクルに基づいた研修の充実

目標② 幼保一体化に向けた研修の充実

これからの幼児教育の指針

関係機関がつながる

5 地域で支える幼児教育の推進

基本方針① 幼児教育関係組織の連携

目標① 幼児教育関係組織の連携体制の整備

目標② 市町村における幼児教育の充実に向けた政策プログラムの策定

基本方針② 幼保一体化への対応

目標① 幼稚園・保育所・認定こども園の連携推進

目標② 認定こども園制度の活用促進

基本方針③ 幼児教育・保育環境の改善

目標① 館員配置の改善と幼児教育・保育環境の整備

家庭教育を支える

4 子育て・親育ち支援の充実

基本方針① 「親と子の育ちの場」の充実

目標① 多様な場を活用した交流機会の提供

目標② 保護者の育ちを応援する学びの機会の充実

基本方針② 子育て支援体制の充実

目標① 関係機関と連携した子育て支援体制の充実

目標② 家庭や地域における子育て支援体制の充実

基本方針③ センター的機能の整備

目標① 幼稚園・保育所・認定こども園におけるセンター的機能の充実

